本書の構成

本書は，臨床現場に初めて立つ研修医 ，医学部生向けに，まず最初におさえてほしい必須知識を厳選し，解説した入門書です．各抗菌薬ごとに重要ポイントを一目でわかるように示し，演習問題では実際の処方例などを考えることで応用力が身につきます．指導医の方は，是非研修医を指導する際の参考書としてお役立てください．

Lecture 1

Lecture1 では，各抗菌薬の特徴を学ぶ前に知っておくべき，感染症診療の基本事項，抗菌薬を使用するうえでの考え方・留意点などについて解説しています．

Lecture 2

Lecture2 では，各抗菌薬ごとに冒頭で，必ずおさえるべき特徴，適応微生物などが一目でわかるようにまとめています．まず，この必須知識をしっかり理解することで抗菌薬使用の基礎固めができます．

必須知識をおさえたら ，演習問題で実際の処方例などを考えてみましょう．抗菌薬を「なんとなく」選ぶのではなく，根拠をきちんと理解したうえで適切に使用できるようになることを目指します．

Casestudy

最後に，CaseStudy に取り組み，本書で学んだ内容全体を確認しましょう．疑問点は，Lecture2 の該当箇所に戻って復習することで，さらに実践力が高まります．

巻末には，腎機能による用量調節が必要な場合や，妊婦や授乳婦に対する投与など，臨床現場で必ず役立つ内容をまとめた付録の表を掲載しています．是非ご活用下さい．